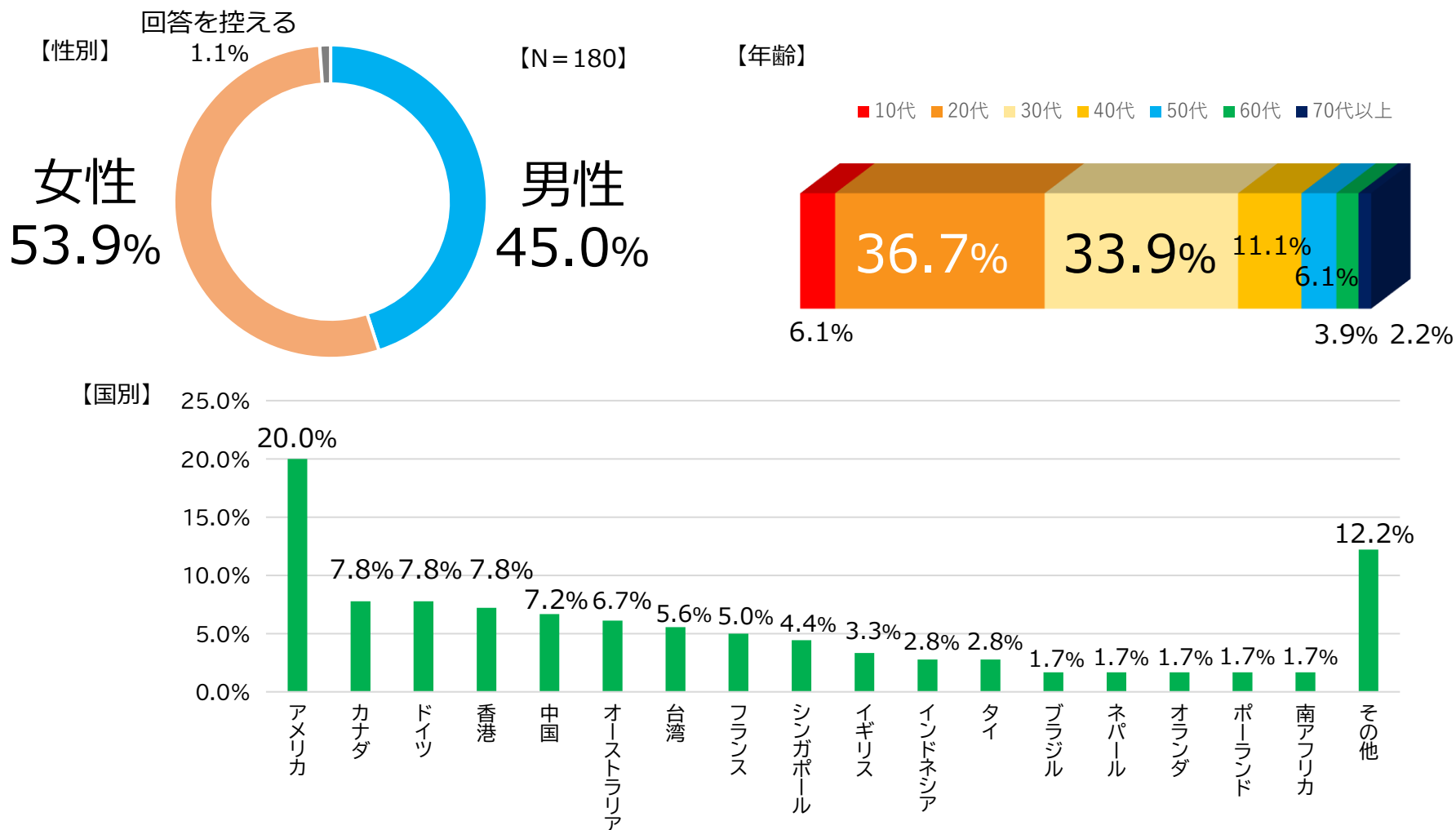


(1) アンケート回答者属性

- 今回の調査は男性45.0%、女性53.9%となっており、年代は20代、30代がボリュームゾーンとなった。
- 国別はアメリカが20.0%と最も多く、次いでカナダ、ドイツ、香港が7.8%となった。

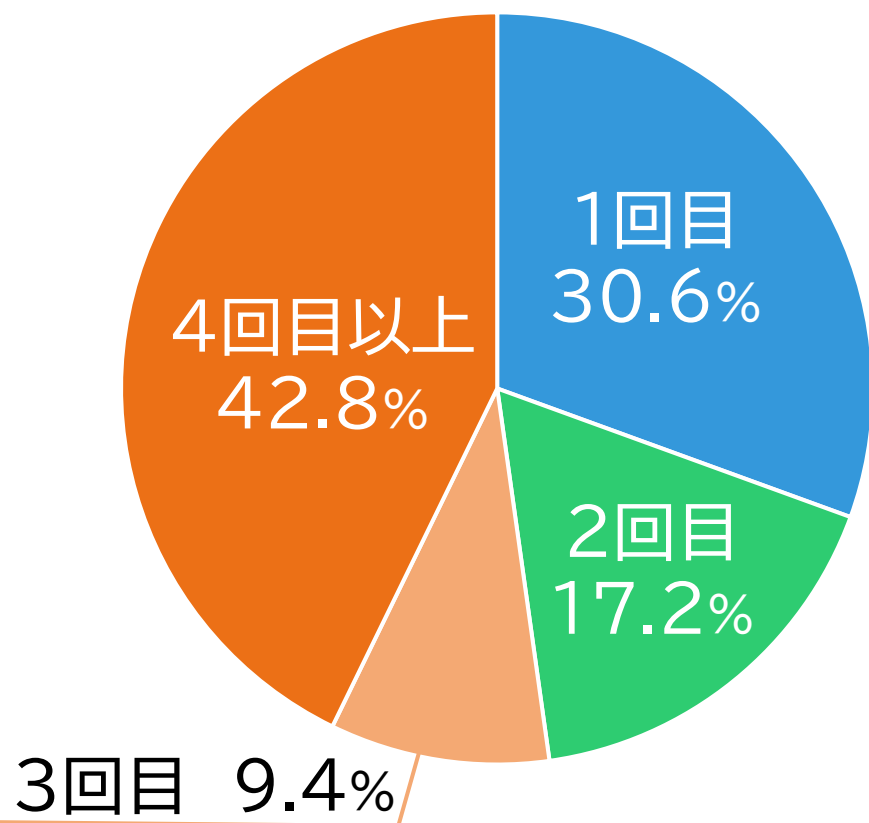


(1) アンケート回答者属性

- 回答者の訪日回数は「4回目以上」が42.8%と最も高く、日本への旅行経験が豊富なリピーター層が中心となっている。
- 一方で、石巻圏への来訪回数については「1回目」が90.6%に達し、日本観光に慣れた層が「新しい目的地」として石巻圏を選択していると考えられる。

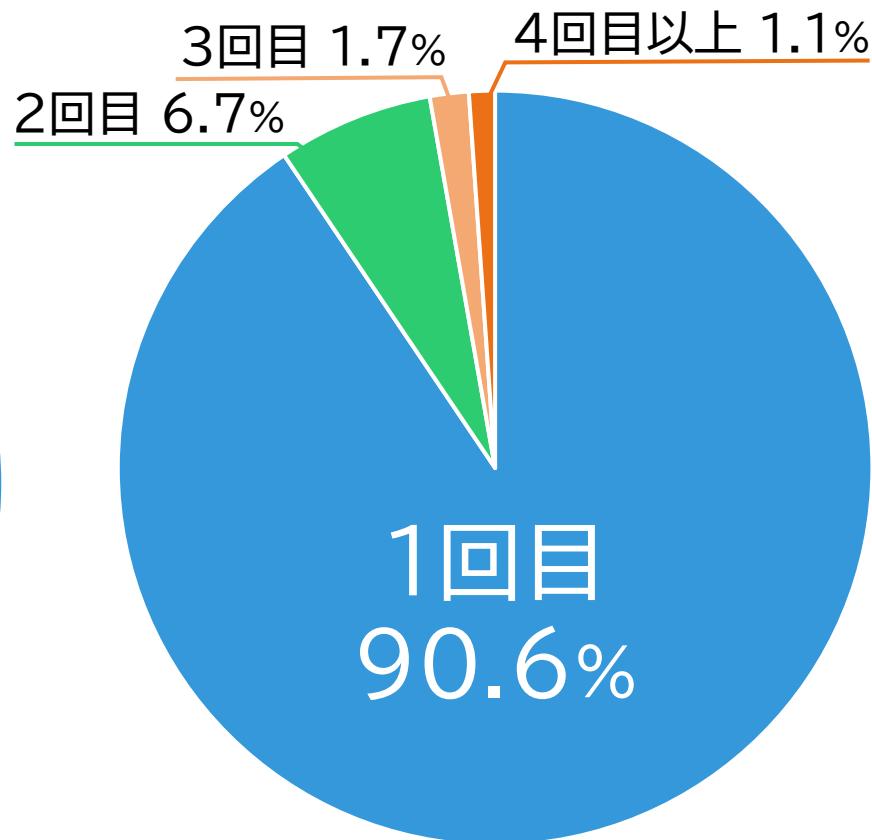
【訪日回数】

【N=180】



【石巻圏来訪回数】

【N=180】



(1) アンケート回答者属性

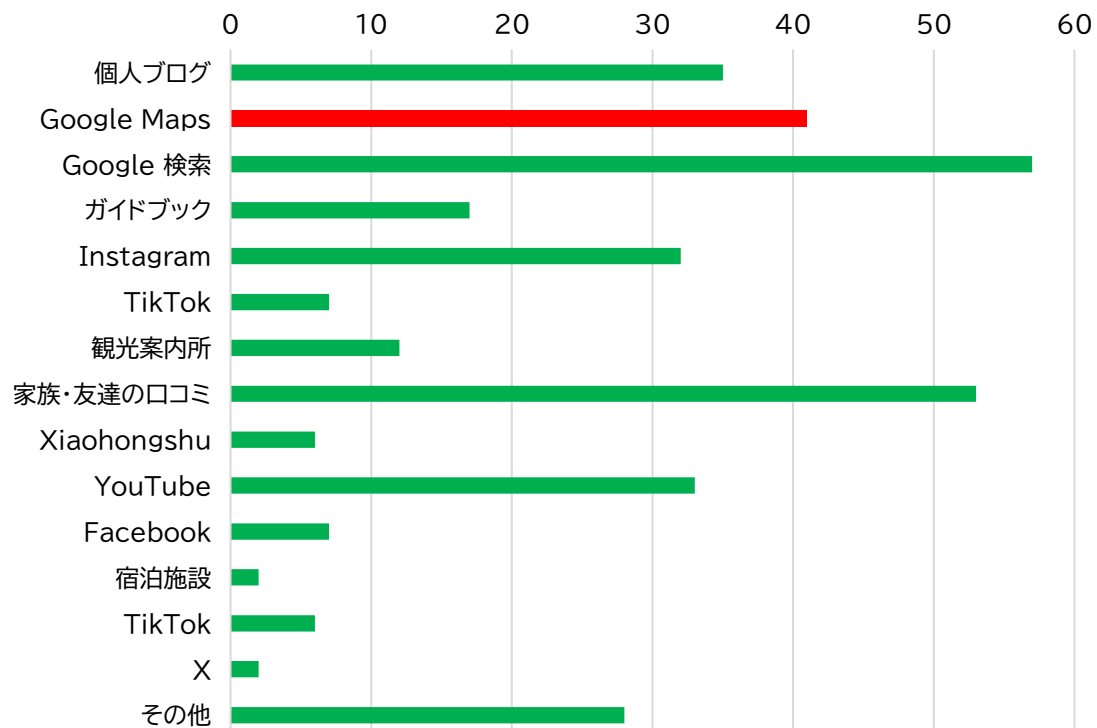
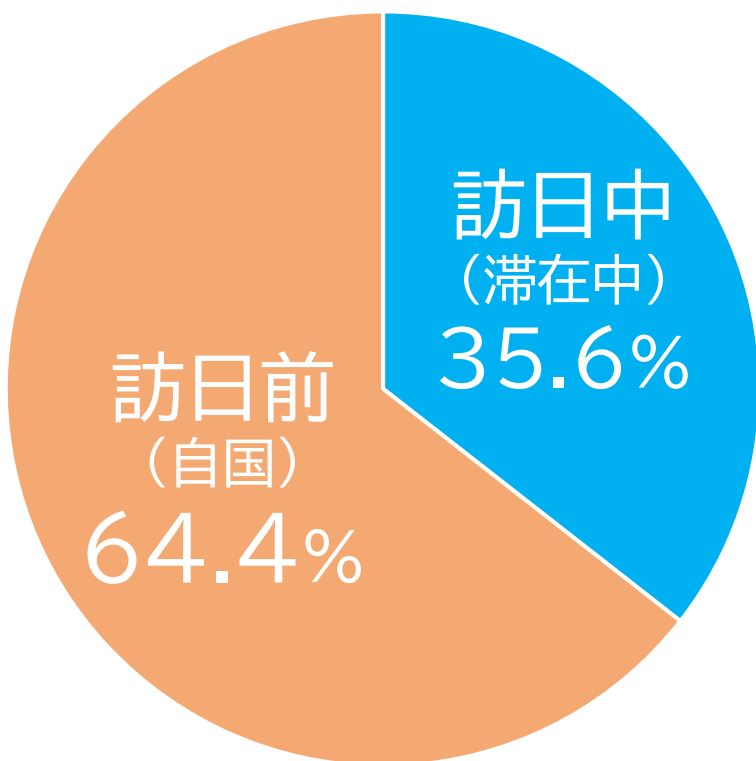
- 来訪者の6割以上（64.4%）が訪日前に石巻エリアへの訪問を決定している。
- 「訪日中（滞在中）」に決定した層は35.6%とあり、特定の目的地を定めずフレキシブルに行き先を決める層が存在することが判明した。
- 石巻圏を目的地として選択した際の主要な情報源は、「Google検索」および「家族・知人の口コミ」が上位を占めた。

【石巻圏への来訪決定時期について】

【N = 180】

【目的地選択の決め手となった情報源について】

【N = 180】



(1) アンケート回答者属性

- 前泊地として「仙台市」が突出しており、石巻市内宿泊者の2倍以上に達している事実は、多くのインバウンド客にとって石巻圏が「仙台を拠点とした日帰り周遊先」として位置づけられている現状が判明した。
- また松島町も入っていることから、日本三景・松島からさらに足を延ばすルートも一定数存在していることが推察される。

【N = 180】

【前泊地の所在および分布状況】

